

文化財について

1. 明日香村総合管理計画について

○目的

明日香村では、村全域にわたり宮跡、寺跡、古墳など、重要な歴史的文化的遺産が数多く存在し、周辺に広がる田園的な自然景観、伝統的な集落景観と相俟って地域を特徴づけている。

これまで、明日香村では重要遺跡の史跡指定、飛鳥寺跡及び川原寺跡における保存管理計画の策定、埋蔵文化財包蔵地の周知、史跡における現状変更及び開発行為の際の事前発掘調査の実施などにより、これら文化財の保護を図ってきた。

一方で、長年の文化財保護行政の中で、史跡、遺跡の保存管理の面、利活用の面において様々な課題が明らかになるとともに、歴史的風土の保存、全村まるごと博物館構想等との整合のとれた文化財の保存が求められている。

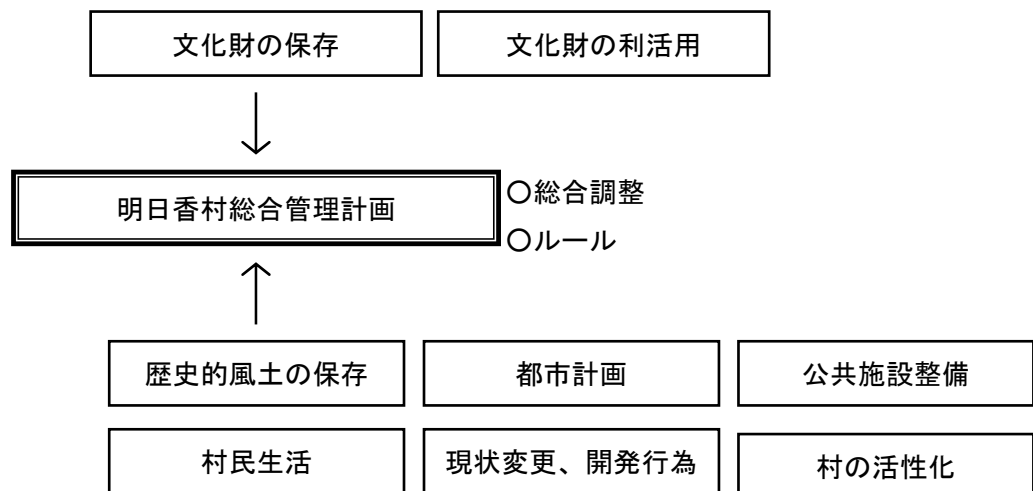
このようなことから、明日香村教育委員会では、村民の誇りであるとともに国民共有の財産でもある史跡、遺跡等の文化財を保存し、次世代に引き継ぐため、周辺の土地利用をはじめ、都市基盤や生活基盤の情報等を掌握し、文化財の保存の観点からの関連施策と総合的な調整の方針をとりまとめ、平成17年3月に明日香村総合管理計画を策定したところである。

なお、総合管理計画の対象とする文化財は、「特別史跡及び史跡」「史跡に準ずる重要遺跡」「埋蔵文化財包蔵地」とする。

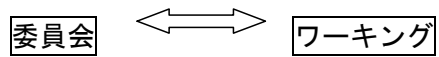
○明日香村総合管理計画の内容

- 村全体にわたる史跡、遺跡などの文化財の総合的な保存管理の方針
- 史跡、遺跡の性格、周辺状況、関連遺跡との関係、周辺地域の意向などをふまえた、個々の史跡、遺跡の保存管理、利活用のあり方
- 都市計画や歴史的風土の保存との調整方針
- 全村まるごと博物館構想をはじめ、村の活性化に資する文化財の保存のあり方

○明日香村総合管理計画の役割



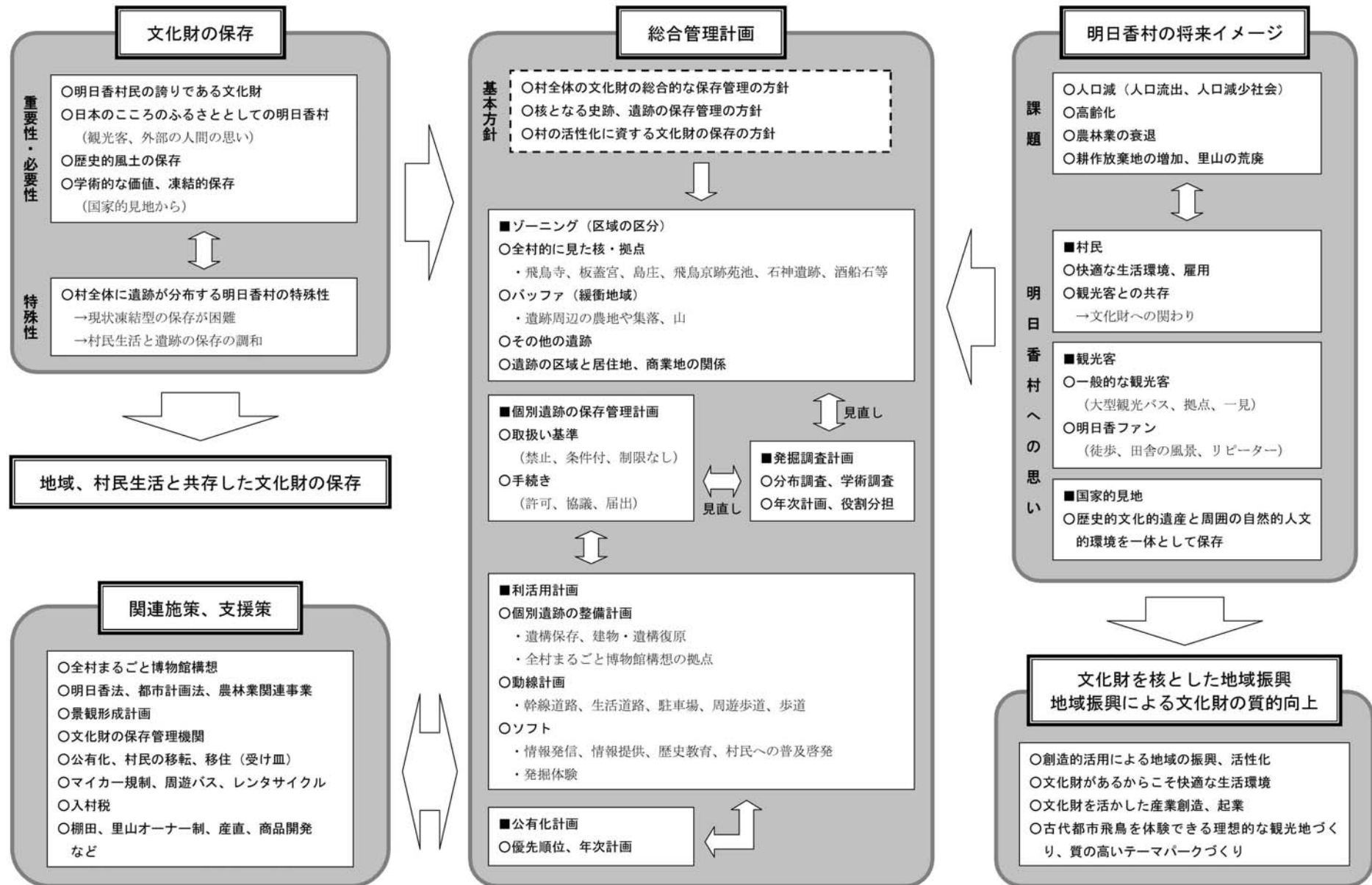
○策定検討体制



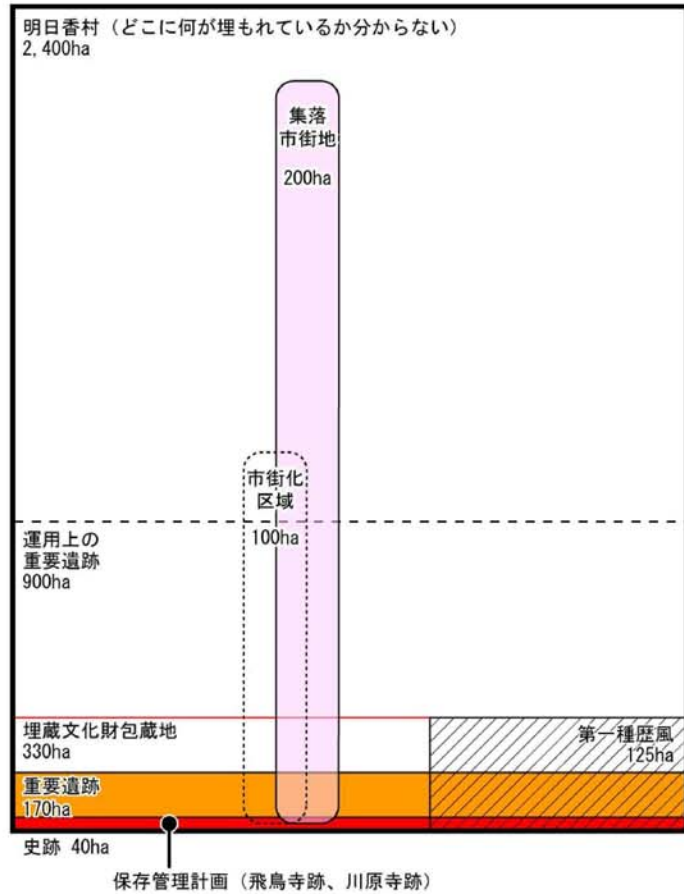
委員 考古学 6 名、歴史学 1 名、都市計画 1 名、歴史地理学 1 名
明日香村都市計画審議会長、明日香村文化財保護委員長
奈良県文化財課、文化庁記念物課（助言者）

ワーキング 考古学 1 名、歴史学 1 名、奈良県文化財課、文化庁記念物課

○総合管理計画の位置づけ

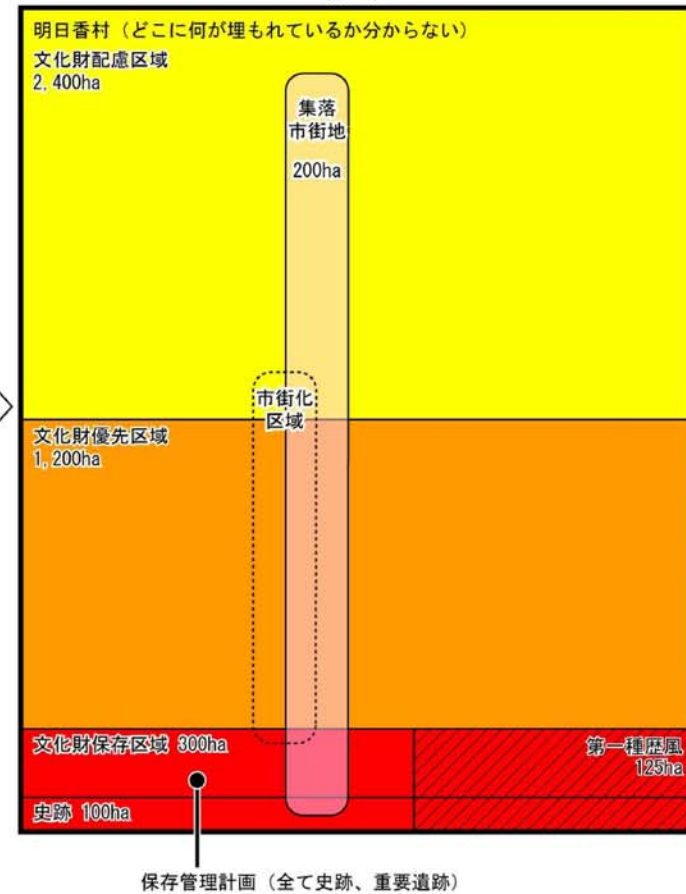


現 状



- 史跡の保存管理計画は飛鳥寺跡、川原寺跡のみ
- それ以外の史跡、遺跡については、保存管理に関する計画がない
- 史跡区域内、重要遺跡に現に居住し、生活している地元住民も相当数ある
- 史跡、遺跡の区域とは関係なく市街化区域、歴史的風土保存地区、風致地区が指定
- 全村一律的に開発の際の埋蔵文化財発掘の届出が義務づけられている
- 埋蔵文化財包蔵地として周知されていなくても遺跡が存在する可能性がある

将 来



- 村内を文化財の観点から3つの区域に区分し、それぞれの区域ごとに保存管理の取り扱いを定める (マスタープラン)
- 文化財保存区域においては、区域内のすべての史跡、遺跡の保存管理計画を作成する
- バッファ (緩衝地域) として文化財優先区域を設定し、文化財保存区域に準じた取り扱いとする
- その他の地域についても、引き続き開発の際の埋蔵文化財発掘の届出を義務づける
- 明日香法、都市計画法等と区域の調整を図る

総合管理計画

○区域区分

	区域の概念	区域のイメージ	対象地	取扱いの基準
文化財保存区域	文化財の保存を最優先する区域		<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡区域（未告示含む） ・ 第一種歴史的風土保存地区 ・ 史跡指定をすべき重要遺跡 ・ 陵墓・陵墓参考地 	<p>各史跡、遺跡ごとの保存管理計画に基づきます。</p> <p>詳細は明日香村教育委員会文化財課にお問い合わせ下さい。</p>
文化財優先区域	文化財の保存を優先する区域		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財保存区域の周辺100mの範囲 ・ 古墳 ・ 奈良県遺跡地図による埋蔵文化財包蔵地 ・ 埋蔵文化財包蔵地の周辺100mの範囲 ・ 標高150m以下の区域 	<p>工事着手の60日前までに「埋蔵文化財発掘届」を明日香村教育委員会文化財課に提出して下さい。</p> <p>原則として事前に発掘調査を実施します。</p>
文化財配慮区域	文化財の保存に配慮する区域		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記以外の区域 	<p>工事着手の60日前までに「埋蔵文化財発掘届」を明日香村教育委員会文化財課に提出して下さい。</p> <p>必要に応じて発掘調査を実施します。</p>

2. 文化財の活用に関する主な事業

○バーチャル飛鳥京実験（主体：明日香村、国営飛鳥・平城宮跡歴史公園、東京大学、奈良先端科学技術大学）

【事業内容】

明日香村の文化財の意義をわかりやすく知ってもらうため、平成17年度よりコンピュータグラフィックによる遺跡等の復元モデルを制作。年1回の技術開発のための公開実験を実施。

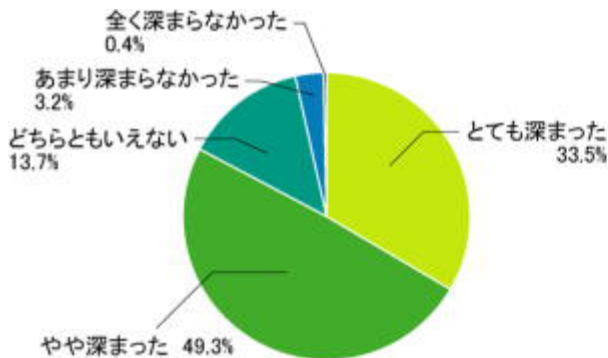
- 平成17年度 川原寺跡
- 平成18年度 川原寺跡・甘樫丘展望台
- 平成19年度 甘樫丘展望台・伝板蓋宮跡
- 平成20年度 甘樫丘展望台・伝板蓋宮跡・川原寺跡



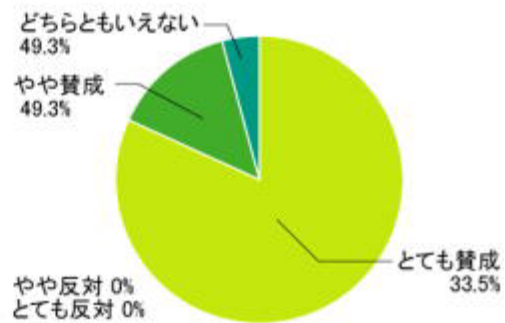
甘樫丘から見た飛鳥京の合成画像



実験会場の様子



<問> 今回の展示を体験することによって遺跡に対する理解が深まりましたか？



<問> 今後このような形で明日香京跡を復元・展示していくことについて、どのように思われますか？

アンケート結果の抜粋

○明日香村埋蔵文化財展示施設（主体：明日香村）

明日香村が発掘した文化財の展示スペース。旧飛鳥小学校の建物を利用。

◆主な展示

- 1) 明日香村内出土遺物展示
- 2) キトラ古墳石室模型展示

その他、村の文化財課で発掘している最新情報

- ◆利用時間： 平日の午前9時から午後5時まで
- ◆休日： 土、日、祝日、年末年始
- ◆入場料： 無料

○春・秋の観光シーズンに特別開館を実施

- ◆同時に特別企画展を開催
- ◆観光ボランティアガイドによる案内付き

期間中の入館者数

平成19年度	春	17日間	4,188人
	秋	21日間	1,962人
平成20年度	春	13日間	2,991人
	秋	10日間	1,122人



埋蔵文化財展示室外観



キトラ古墳石室レプリカ展示